

～笑顔こぼれる協働のまちを目指して～

# 平成23年度 町の当初予算

## 施政方針（予算編成方針）要旨

私はこの5月で第2期目就任から3年を経過することから、平成23年度は仕上げの年になります。私は、第2期目の公約としまして「安心安全の町」「活力のある町」づくりを目指し、その実現のため6つの政策を掲げました。それぞれの政策についての具体的な施策につきましては、ほぼ当初の公約を達成できる見通しとなりました。各種事業の推進に当たりまして、町民の皆さんに大変なご理解とご協力をいただきましたこと深く感謝を申し上げます。

平成23年度の町政運営は、「第8次南木曾町長期振興計画」並びに「第2次自立推進計画」を行政運営の指針として、住民福祉の向上に全力を傾注することを基本姿勢とします。特に若者が安心して定住できる環境づくり、子育てに魅力を感じる町となりますよう各種政策を推進してまいります。

具体的な施策といたしまして、

- ① 町民のニーズに応じた多様な総合的住宅支援施策
- ② 各種子育て支援事業の充実
- ③ 保育園の1園統合を見据えた新園舎並びに子育て支援センターの建設に向けての具体的な検討
- ④ 南木曾小学校改築事業
- ⑤ 三留野地区の下水道事業の推進

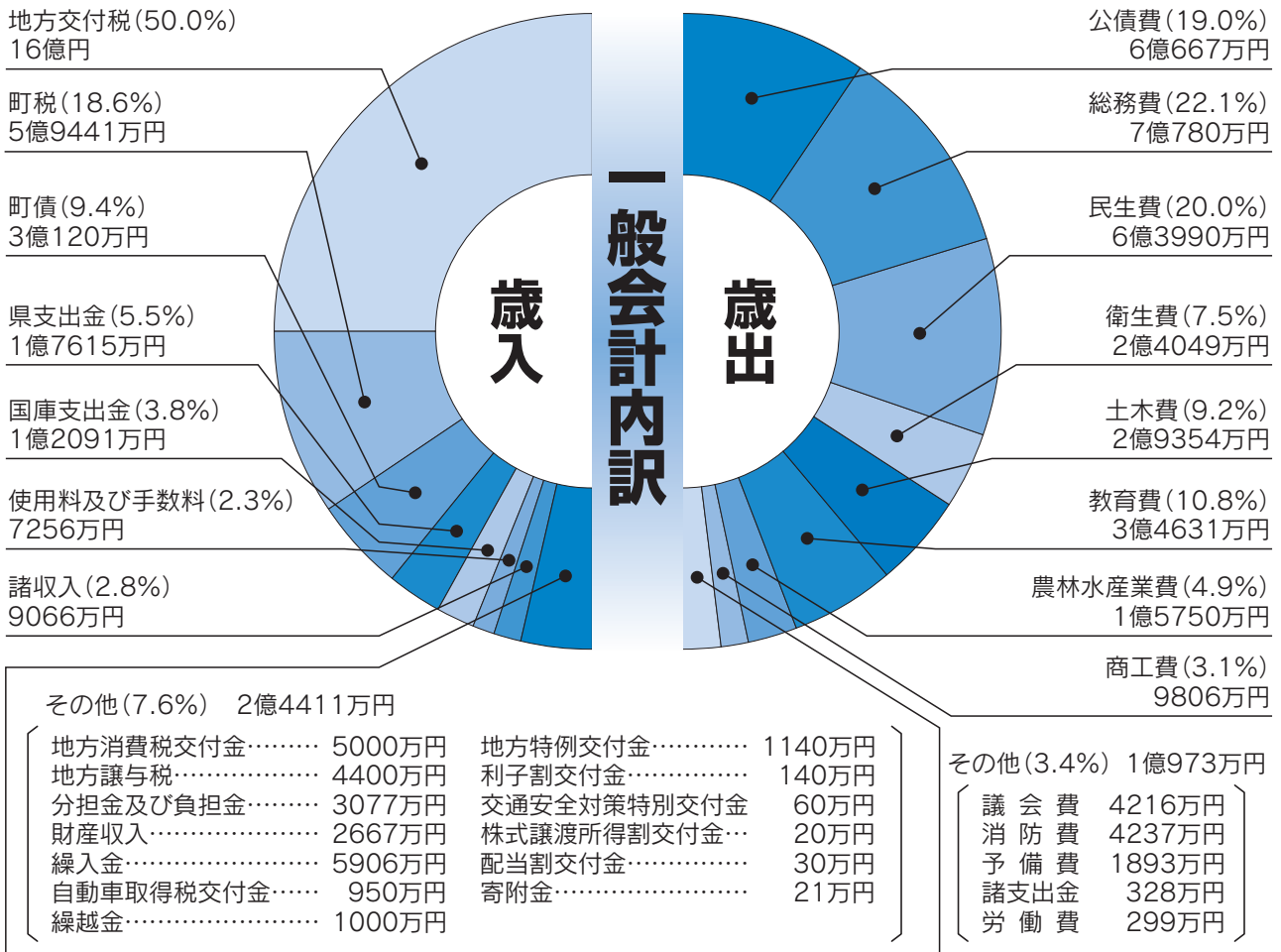
以上の5事業に重点を置いて推進してまいります。

第2期目の仕上げの年となります本年につきましても、職員の仕事に対する意識の向上を図り、職員と一丸となって町民の皆さんに満足していただける仕事、感謝される仕事に真心を込めて取り組んでまいります。

町民の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



# 一般会計予算総額 32億円



# 特別会計予算総額 10億5185万円

会計区分	予算額	増減率
南木曾町国民健康保険特別会計	4億8504万円	1.5%
簡易水道事業特別会計	2億31万円	0.1%
南木曾町営妻籠宿有料駐車場特別会計	4600万円	△13.8%
南木曾町下水道事業特別会計	6347万円	△7.0%
南木曾町農業集落排水事業特別会計	6755万円	△1.9%
南木曾町浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1億1679万円	2.0%
南木曾町後期高齢者医療特別会計	7269万円	△2.6%
<b>合計</b>	<b>10億5185万円</b>	<b>△0.6%</b>

## 町税の内訳

税目	予算額	構成比
固定資産税	3億9430万円	66.4%
町民税	1億7440万円	29.3%
軽自動車税	1031万円	1.7%
町たばこ税	900万円	1.5%
入湯税	640万円	1.1%
<b>合計</b>	<b>5億9441万円</b>	<b>100.0%</b>



# 一般会計の主な事業

## 総務費

新交通システム経費	6010万円
木曽広域連合負担金	2億5322万円
戸籍情報電子化	1110万円

## 民生費

社会福祉協議会運営費補助金	1153万円
老人福祉施設入所措置費	2399万円
重度心身障害者医療費	1560万円
障害者自立支援給付事業	8433万円
乳幼児・児童医療費	900万円
子ども手当	7555万円
保育所運営費	4709万円
子育て支援事業経費（一時預かり含）	371万円
子育て基金積立	1000万円

## 衛生費

予防接種事業	1542万円
がん検診等	682万円
坂下病院救急医療負担金	483万円

## 農林水産業費

中山間地域直接支払制度交付金	3512万円
森林病虫害等防除対策事業	242万円
有害鳥獣対策事業	698万円

## 商工費

美しい景観整備事業	511万円
観光施設整備事業	420万円

## 土木費

町道維持補修事業（和合妻籠線・蘭線舗装）	1850万円
道路新設改良事業	1億2000万円
橋梁維持補修事業（桃介橋改修）	1000万円
ユーアイ住宅建設事業	1654万円
住宅資金貸付金	698万円
住宅リフォーム補助金	100万円

## 消防費

消防団運営経費	3266万円
防火水槽設置事業	663万円

## 教育費

南木曽小学校改築事業	7,800万円
放課後子ども教室事業	273万円



今年度の一般会計は、32億円で22年度の当初予算と比較して0.9%の増となりました。昨年度同様に平成23年度事業を前倒して22年度に計上しましたが、子ども手当及び介護給付費並びに音楽棟・用務員室棟の建設をする南木曽小学校第3期改築事業の計上により微増となったものです。

近年の厳しい社会情勢を反映して町税を470万円減額しましたが、地方交付税は国の地域主権改革に沿った財源の確保がなされたことから昨年度同額を計上しました。また、ユーアイ住宅建設事業、南木曽小学校改築事業等への充当財源で5906万円の繰入金を計上しました。計画事業については補助事業・継続事業等の緊急性の高い事業を当初予算に計上し、単独事業については補正予算で対応することにしました。主な事業として、道路基盤整備では、町道正兼線改良、町道島の平線改良を中心に計上しました。通信運輸では、新交通システム経費を計上しました。

教育文化では、小中学校運営経費、社会教育関係経費、妻籠宿保存工事等を計上しました。南木曽小学校第3期工事は音楽棟・用務員室棟・外構関係工事を実施します。加えて「放課後子ども教室」の開設運営を今年度から行います。

生活環境関係では、浄化槽市町村整備推進事業、防火水槽設置事業、ユーアイ住宅建設事業を計上しました。住宅資金貸付金及び利子補給の増額、住宅リフォーム助成金を新たに計上しました。

保健福祉関係では、各種検診費用、各種医療費、高齢者・児童・障害者福祉対策費等を計上しました。また、坂下病院の救急医療事業費の不採算部分に協力する坂下病院救急医療負担金及び3歳児から5歳児の保育料助成金を新たに計上し、子育て支援事業に一時預かり事業を追加し計上しました。

産業振興面では、企業・観光振興対策事業、農業基盤整備や中山間地域直接支払制度等農業振興対策、林業振興対策事業等を計上しました。有害鳥獣駆除事業については、昨年度の農作物等の被害状況を受け増額を行いました。

特別会計につきましては、国民健康保険等事業会計、簡易水道等企业会計合わせて7会計で10億5185万円を計上しました。（前年比△0.6%）老人保健特別会計については、制度廃止により平成22年度で清算を行いました。